

取扱説明書

GT GAUGE-60

回転信号タイプタコメーター **GST**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示範囲	2
配線接続方法	2
製品の固定	3
各種設定	3
基本動作	4
ピーク値の表示とリセット	4
シフトポイント設定	4
故障かな？と思ったら	4

内容物をご確認ください



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定や配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

回転信号接続により幅広い車種で高精度計測

簡単装着のワンボディ

メーターは別ユニット不要で装着が簡単になりました。

集中した走りを生む艶消しブラック

光の反射や窓への映り込みを抑える艶消しブラックのベゼルを採用。

ワーニングとピークホールド

設定値を超えるとワーニングLEDが点滅し、走行後のピークも表示可能です。

メーターホルダー

様々な場所に設置可能なメーターホルダーを付属。

高精度ステッピングモーター

静かな作動音で応答性に優れた高精度ステッピングモーターを使用。

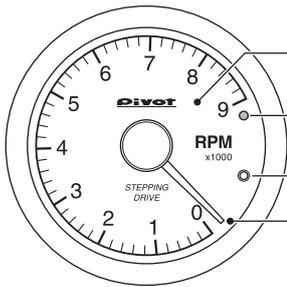
イルミ照明

針と文字板は見やすいホワイトLED照明。

新オープニング動作

エンジン始動時のオープニングは従来品より短くスムーズな動作。

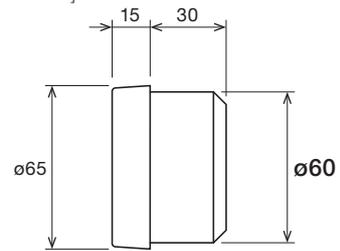
各部の名称と表示範囲



- 文字板 エンジン回転数を表示
- LEDランプ (赤色) 設定した値を超えると警告点滅、ピーク値表示中に点灯
- スイッチ シフトポイント設定、ピーク値の表示とリセット
- 針 現在の数値やピーク値を表示
- イルミ 文字・針：白 (表示中は常時点灯)

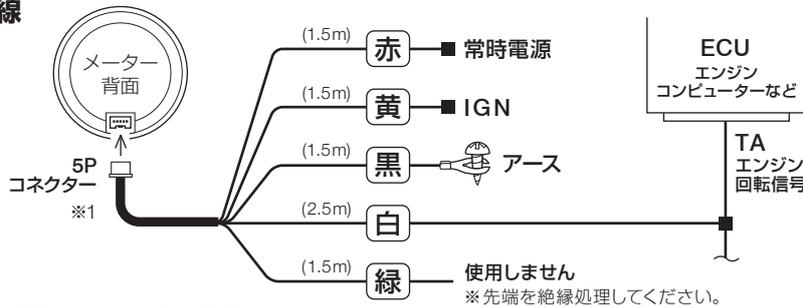
表示：0~9000 rpm

サイズ
[単位: mm]



配線接続方法

基本配線



安全のため、配線作業時は
バッテリーの⊖端子を
外してください。

※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクタを接続しないようにご注意ください。

■ = カットギボシ

常時電源

赤 常時+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(IGN・ACC不可)

IGN

黄 キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(常時・ACC不可)

アース

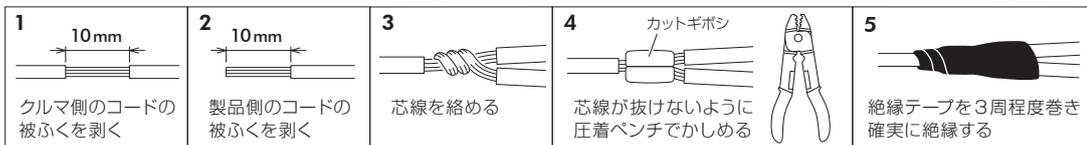
黒 アース端子付
アースが取れる金属部のネジに固定する。プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

エンジン回転信号

白 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用して接続する。接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。



カットギボシの使い方

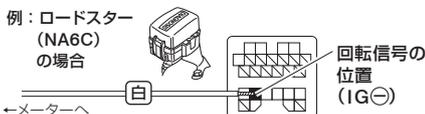


ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

- 両方接続しても正常に動作する
▶ そのまま使用可能。
- 動作しない、または不安定な動作をする
▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

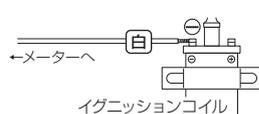
回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

●ダイアグノシス (チェックコネクタ) からとる場合



上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合
例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。

●イグニッションコイルからとる場合



気筒設定数を「1」にします。
⇒3ページ
設定A 気筒数設定

●ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合



■ = カットギボシ
※気筒数設定を「1」にします。
※点火信号の配線位置は車種によって異なります。

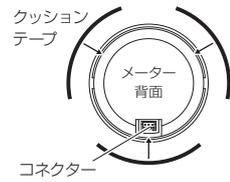
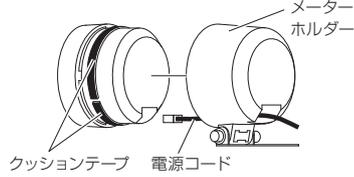
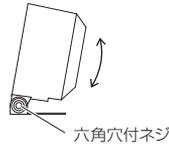
製品の固定

メーターホルダーを使用する場合

- 1 メーターホルダーを両面テープで固定する。
- 2 ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。
- 3 メーターにクッションテープを貼り電源コードを接続しメーターホルダーに差し込む。抜けやすい場合はクッションテープを追加してください。

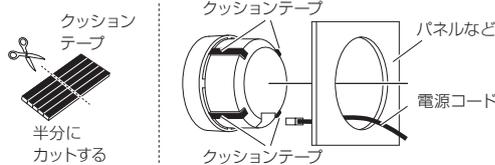


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。



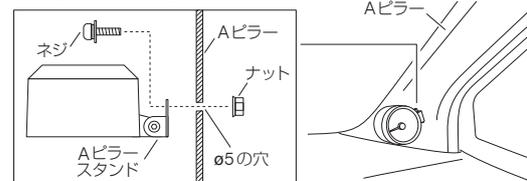
パネルなどに埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、電源コードを接続しパネルなどに差し込む。



Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付けの場合

Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



各種設定

準備 取り付ける車の気筒数、サイクル数をご確認ください。

設定 A 気筒数設定

クルマごとの気筒数を設定します。気筒数は針の位置で設定します。(出荷時は4気筒に設定されています)

- 1 + **START**
スイッチを押しながら、エンジン始動
※スイッチを押してから5秒以内に始動させる。
- 2 **オープニング動作後針が現在の設定値を指します**
● LEDランプが点灯

- 3 **スイッチを押し設定する気筒数の位置まで針を動かす**
スイッチを押すごとに針が4→5→6→8...と上がります。

気筒数	針	車種
1	1	日産車(フェアレディZ Z33)・マツダ車(アテンザ等)※
2	2	マツダ車(RX-8)・スバル車(プレオ初期型等)※
※ 1気筒、2気筒設定の場合、 設定B 信号レベル切り換え で信号検出レベルを2に設定してください。		
3	3	3気筒車
4	4	4気筒車・ロータリー車(RX-7)
5	5	5気筒車
6	6	6気筒車
8	8	8気筒車
特A	9	日産マーチ/キューブ等の一部車種

⚠ 2サイクル車の場合は、気筒数を2倍にて設定してください。(例：2サイクル3気筒車の場合⇒6気筒設定)

- 4 5秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ **設定完了**

設定 B 信号レベル切り換え

回転信号の検出レベルを切り換えます。

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

日産(フェアレディZ Z33)、マツダ(H14年以降の一部)、三菱(コルト他)、スバル(プレオ初期型等)

※詳細は、別紙「配線一覧表」をご覧ください。

配線
一覧表

- 1 + 5秒
キースイッチOFFの状態、スイッチを5秒長押し

- 2 **オープニング動作後針が現在の設定値を指します(1または2)**
● LEDランプが点灯

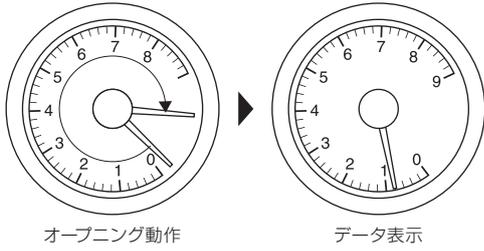
- 3 **スイッチを押し設定を切り換える**
スイッチを押し、針の位置で信号検出レベルを設定します。
1 = 一般の場合 2 = レベルが小さい場合



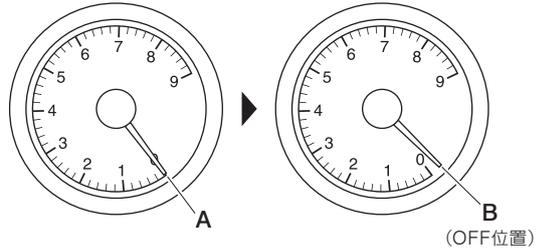
- 4 5秒間操作なしで針が0へ移動しイルミ消灯後に一目盛り右へ移動 ▶ **設定完了**

基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。
 ※ コネクター装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。



エンジン停止 ▶ 針がAの位置へ移動し
 イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。



ピーク値の表示とリセット

エンジン始動後のピーク値を表示します。 ※ ピーク値はキー OFF でリセットされます。

<p>1 メーター作動中にスイッチを1回押し</p> <p>ピーク値表示</p> <p>● LEDランプが点灯</p>	<p>2 ピーク表示中にスイッチを2秒長押し</p> <p>ピーク値リセット</p> <p>○ LEDランプが消灯</p>	<p>3 5秒間スイッチ操作なし</p> <p>通常表示</p> <p>○ LEDランプが消灯</p>
--	--	---

シフトポイント設定

LEDランプが警告点滅するエンジン回転数を設定します。 ※ ピーク値表示 (LEDランプ点灯) 中は設定できません。

<p>1 メーター作動中にスイッチを3秒長押し</p> <p>現在のシフトポイント表示</p> <p>☀ LEDランプが点滅</p>	<p>2 スイッチを押し、設定したい数値まで針を動かす</p> <p>設定可能範囲：3000 ~ 9000 rpm</p> <p>スイッチを押すごとに設定値が上がり、設定上限に達すると下限値に戻ります。 ※スイッチを押し続けると針は連続して動き、設定上限で止まります。</p>	<p>3 5秒間操作なしで通常表示に戻る</p> <p>▶ 設定完了</p>
---	---	---

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが動かない。	5Pコネクター (赤) (黄) (黒) コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	別の品番の5Pコネクターを接続している。	「配線接続方法」をご確認ください。
オープニング動作はするが表示しない。	白 コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
表示が車輻メーターなどよりもズれる。	気筒数設定があっていない。	「気筒数設定」をご参照の上、確実に設定してください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
各種設定ができない。	(赤) (黄) コードの配線間違い。	必ず (赤) コードは常時電源、(黄) コードはIGN電源へ接続してください。
LEDランプが警告点滅しない。	シフトポイント設定をした回転数に達していない。	「シフトポイント設定」をご参照の上、設定した回転数をご確認ください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輻の説明書に従って再設定してください。

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。